

## 閑上大漁唄込み踊

### 由来と特色

閑上は名取市北東部、名取川が太平洋に注ぐ、河口に発達した漁業の町、港町である。昭和三十年代頃まで漁港として、大いに活気を呈したが、今は静かな漁港の雰囲気漂わせている。

閑上の近郊には「貞山堀」や、「閑上土手の松」と呼ばれる、クロマツの並木が名取川沿いに残っていて、藩政時代の面影を今に伝えている。閑上には古くから大漁節が伝わっていて、藩祖政宗公が閑上浜を散策された折、土地の漁港達が上覧に供したともいい伝えられている。一方、大漁祝唄は、明治の初めの頃に千葉県の銚子港から流伝したものが、土地風に変容したものといわれる。

大漁唄込み踊とは、この大漁節と大漁祝唄を合わせ総称して呼んでいるもので、踊りとしての振りも添えられ風流化したものであり、大漁にわく浜の男達の心意気を見事に表現している。

### 構成

船曳き二名、櫓踊り七名手踊り八名、唄一名、掛声三名で、舞台では、始めに魚や網などの道具が積み込まれた長さ、二メートルばかりの閑上大黒丸が二人の船曳きによって踊りながら曳き出された後、両側から櫓踊りと手踊りたちが登場して踊りが繰りひろげられ終幕に船が曳かれて退場する。

ワークショップお申し込み・お問い合わせ

## 名取市文化会館

(公益財団法人名取市文化振興財団)

〒981-1224 名取市増田字柳田 520

TEL

FAX

022-384-8900

022-384-6684

URL: <http://bunka.natori.or.jp/>



名取市文化会館



新しい公共スペースを再考するためのダイアログ～reconsideration for Natori～

"Come on! New Common!!"

# -カモン！ ニューコモン!! - ワークショップ&ボディミーティング



## 2014年 3月13日[木] - 16日[日]

# 名取市文化会館

小ホール  
展示ギャラリー

主催：公益財団法人名取市文化振興財団 後援：名取市 / 名取市教育委員会



企画監修・ダンスファシリテーター

### 砂連尾理

振付家・ダンサー。91年、寺田みさことダンスユニットを結成。近年はソロ活動を中心に様々な文脈の身体や土地と関わりながら、新たな表現を模索している。

02年、「TOYOTA CHOREOGRAPHY AWARD 2002」にて、「次代を担う振付家賞」、「オーディエンス賞」をW受賞。

08年度文化庁・在外研修員としてベルリンに1年滞在。近年の作品に、09～12年「Thikwa+Junkan Project」(ドラマトゥルク・中島那奈子)、10年「とつとつダンス」、14年「家から生まれたダンス」(音楽・野村誠)等。13年、映像作家・細谷修平と避難所生活者の声を集めたドキュメンタリー「閑上録」を共同制作。13年、濱口竜介監督の映画「不気味なものの肌に触れる」に振付、出演。

ウェブサイト: <http://www.osamujareo.com/>



映像・アーカイヴ

### 細谷修平

映像作家、美術・メディア研究者。アート・ドキュメンテーションの一形態として、パフォーマーや美術家、音楽家の活動を映像で記録、聞き取りを行なっている。2011年の震災後は、せんだいメディアアテックと協働のもと、さまざまな支援活動や人びとの営みを記録、避難所生活者の声に耳を傾けた映像作品「閑上録」を砂連尾理と共同制作する。また一方で、1960年代の芸術と社会、メディアを主たる研究テーマとして、関係者からの聞き取り及び映像による記録を継続している。

ダンスドラマトゥルク

### 中島那奈子

2006年NY大学客員研究員を経て、2010年ベルリン自由大学で博士号取得後、2011年より日本学術振興会・特別研究員(PD)として、埼玉大学とベルリン自由大学で、「踊りと老い」のテーマにコドモの視点を加えて研究を行っている。2004年からNY及びベルリンで、ダンスドラマトゥルクとしても活躍し、2012年には、ベルリンで国際ダンスシンポジウム「踊りと老い」を開催。ドラマトゥルギーを担当した作品としては、砂連尾理「劇団ティクバ+循環プロジェクト」、Luciana Achugar「Exhausting Love at Danspace Project」(2006年度ベッシー賞受賞)など。日本舞踊宗家藤間流師範名執 藤間勘那恵。

ウェブサイト: <http://www.nanakonakajima.com/>

アシスタントファシリテーター

### 千田優太

塩竈市出身。大学からダンスに出会う。主にソロで活動している。佐藤美由紀・吉田美香と共に「踊りに行くぜ!!」仙台公演に出演。また、すんぶちよの作品にてホンジュラス、ニカラグア、北九州などで公演。渋谷裕子と「ももいろゴリラ」を結成。人一倍からだが硬いことを言い訳に、柔軟性や身体の可動域ではない身体表現を模索している。ダンス幼稚園実行委員会代表。ARCT事務局長。



名取市文化会館より

震災後、露わになった既存システムの弊害。そこに気付いた今だからこそ、私たちの住む社会、アート、劇場、文化の持つ意味を再考してみたいという思いから、この夏、新しいプロジェクトがスタートしました。私たち心の奥底（DNA）に育まれた名取の文化をひも解き、掘り起こしながら、ダンスや映像の手法を用いて、私たちの新しい文化を考える試みです。

地域の人たちとの様々な出会いから生まれた「お茶っこの舞」は、この3月にひとつの到達点を迎えます。

ぜひ、あなたも参加してみませんか。会場でお待ちしています。



自分の居場所を探す

2013年  
8月

START



体の話し方を感じてみる



場所と自分をチューニングする

10月



名取のトピックから歌を考える

12月

語り部さんから  
閑上のお話を  
聞く



名取の歌からダンスを考える



2014年  
1月

閑上大漁唄込み踊  
保存会の踊りを鑑賞



閑上のトピックから踊りを考える



iPhoneを使ったインスタレーション

おでかけ編

愛島東部仮設住宅所  
に行ってきました。  
ストレッチと手のダ  
ンスで身体と気持ち  
を伸ばしてきました。



インタビューによるリサーチ



閑上大漁唄込み踊を習う



映像と踊る

震災から三年が経とうとしている今、私たちは一つの歴史の折り返し地点にいるのかもしれませんが。世界の様々な都市で異議申し立てがおこり、市民社会における民主主義というシステムに、軋轢が生じています。震災後、日本にいる私たちも、社会や劇場、アートという制度の限界に、気づき始めたのではないのでしょうか。

公共ホールである名取市文化会館は、奇しくも震災時に避難所として開かれたことで、名取市民の体の一部となり、直接触れ合う空間となる経験をしました。震災後の今、私たちは文化会館との新しい触れ合い方を探る「お茶っこの舞」という試みを始めています。

「お茶っこの舞」では、名取の過去・現在・未来を、パフォーマンスやトークによる、ボディミーティングという形で立ち上げます。

今朝の日和 空晴り渡り チョイチョイ

波静かエー アラエーエー エトソーレー

掛け声に伴った唄と共に、揃いの法被に身を包んだ保存会の皆さんによって、閑上大漁唄込み踊が始まります。かつての港町の雰囲気が甦ると同時に、貞山堀を境にした閑上の情景が語られていきます。そして、過去の記憶を、現在の名取と結びつけ、そして未来の名取をイメージしていく一つの旅を、私たちは進めていきます。

目には見えないモノ、耳には聞こえないコトに、私たちの感覚を大きく開いていくこと——自分の体（ボディ）を出発点に考えることは、その体を取り巻く過去と未来の時間と空間を、もう一つの大きな体（ボディ）として感じることです。名取の文化を紐解きながら、名取の公共のスペースとの新しい出会いに、私たちの感じ方を開いていくこと——それを「お茶っこの舞」で試みていきたいのです。

（ダンスドラマトゥルク：中島那奈子）

私が名取市文化会館と初めて関わったのは2006年でした。その後、再びここを訪れたのが2011年12月、東日本大震災から9ヶ月が経っていた頃でした。その時私は、会館の渡邊さんから会館が避難所だった時に、会館と住民の間で芽生えた新たな関係や住民同士の対話等、その間に起こった様々な出来事を聞かせてもらいました。その話を聞き、ここに関わったアーティストとしてこの会館の未来を共に考えていけたらと思いスタートさせたのが「お茶っこの舞」です。昨年の8月からスタートさせたワークショップでは先ず、参加者同士の身体を丁寧に見つめるワークからスタートし、その関わりを参加者同士だけに留めず、閑上大漁唄込み踊保存会の方や、閑上の語り部の方、また愛島の仮設住宅の方等、その交流と対話を会館の外にまで広げていきます。そして、今回開催する公開ミーティングでは、更に対話の輪を拡げ、より多くの人と会館の未来について考えていけたらと思っています。

（企画監修・ダンスファシリテーター：砂連尾理）

日程

3月13日[木]

19:30～21:30

3月14日[金]

19:30～21:30

3月15日[土]

13:00～17:00

3月16日[日]

12:30開場 13:00～16:00

会場

ワークショップ（参加費：1,000円 当日受付でお支払いください。）

ボディミーティング（参加費：500円） ※この企画では映像による記録を行います。

3階  
小ホール

16日のボディミーティング時に発表する、名取ダンス&ソング、閑上言葉遊び、朗読劇等を一緒にワークします。尚、以上のワークは初めての方でも、簡単に取り組めるワークです。

※どなたでもご参加いただけます。小学生の方は保護者の送迎が必要です。

【申込方法】

FAX または E-Mail で必要事項（名前・ふりがな・生年月日・性別・電話番号・住所・メールアドレス）をご記入の上、名取市文化会館までお申し込みください。

※お申し込みいただいた個人情報は 本企画にかかわる連絡以外には使用いたしません。

※動きやすい服装でご参加ください。参加者の方には、別途詳細のご連絡をいたします。

閑上大漁唄込み踊保存会  
鑑賞・習う、名取のお話  
を聞く。

参加型ワークショップ

8月からのワークショップで生み出した名取ダンス&ソング、閑上言葉遊び、朗読劇：未来からの手紙etcを実演。また上記のいずれかをワークショップ形式で体験。

トークディスカッション

司会進行：ダンスドラマトゥルク・中島那奈子  
自分の体（ボディ）を出発点に、その体を取り巻く過去と未来の時間と空間を、もう一つの大きな体（ボディ）として感じ、考えてみるディスカッション。

当日は過去から未来への一方向的な時間の流れではなく、過去と未来を行交いながら、ワークショップにパフォーマンス、そして対話の時間を交錯させ、観る一観られるの境界線を揺るがすような形式で進行していきます。

映像記録展（無料）

9:30～16:30

9:30～16:30

9:30～16:00

※出演者や内容が変更となる場合があります。予めご了承ください。